

平成27年8月14日 降雨に伴う出水で
やぎさわ ぼうさい そうさ
矢木沢ダムは防災操作を行いました

防災操作により矢木沢ダムに全量を貯留（約70万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、8月14日4時頃から8月14日10時までの累計で48mmの降雨量を観測しました。

この降雨によってダムへの流入量が増えたことにより、14日7時50分に流入量（最大で毎秒約156立方メートル）が洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を実施しダムに約70万立方メートル全てを貯留しました。

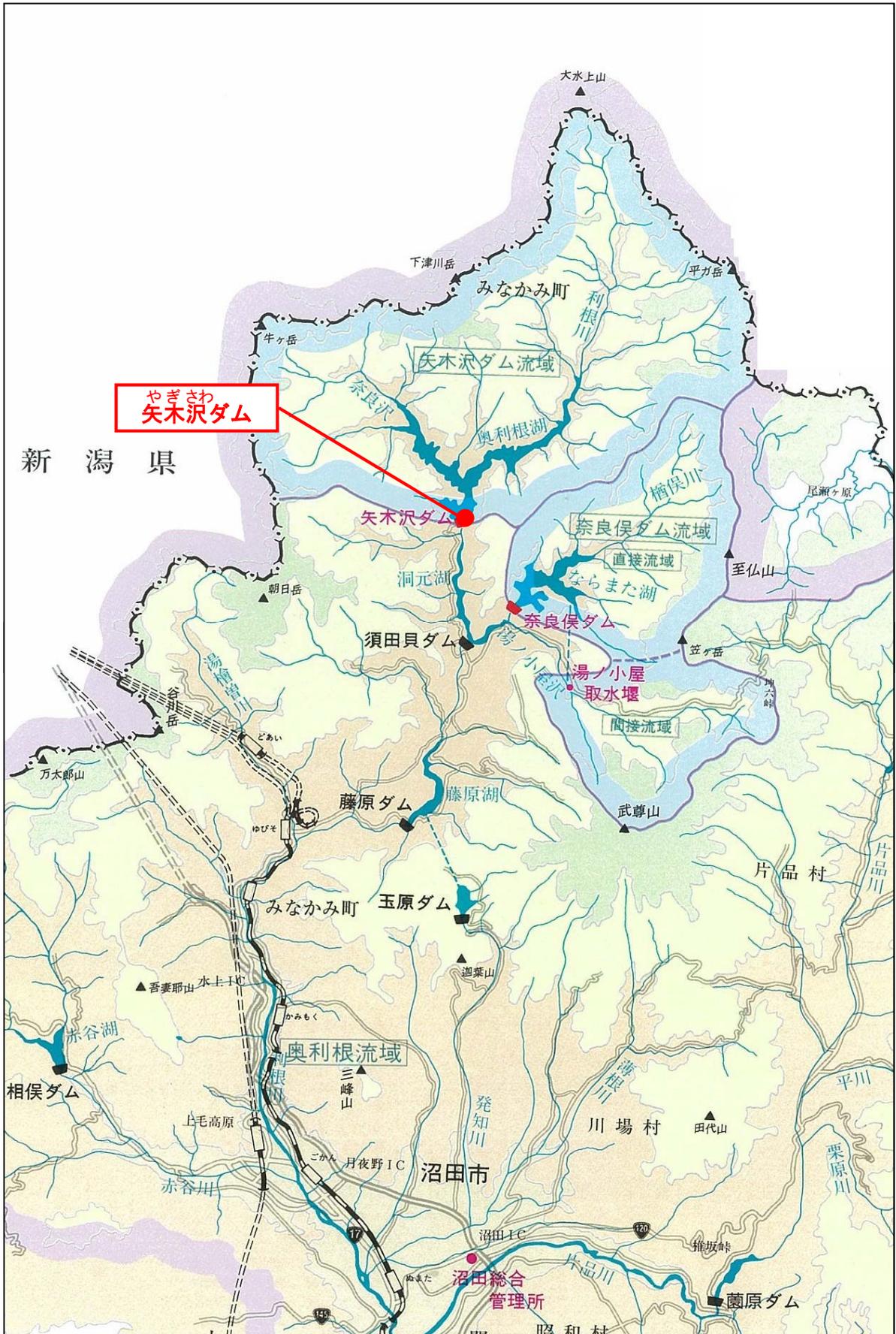
今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

ぼうさい そうさ

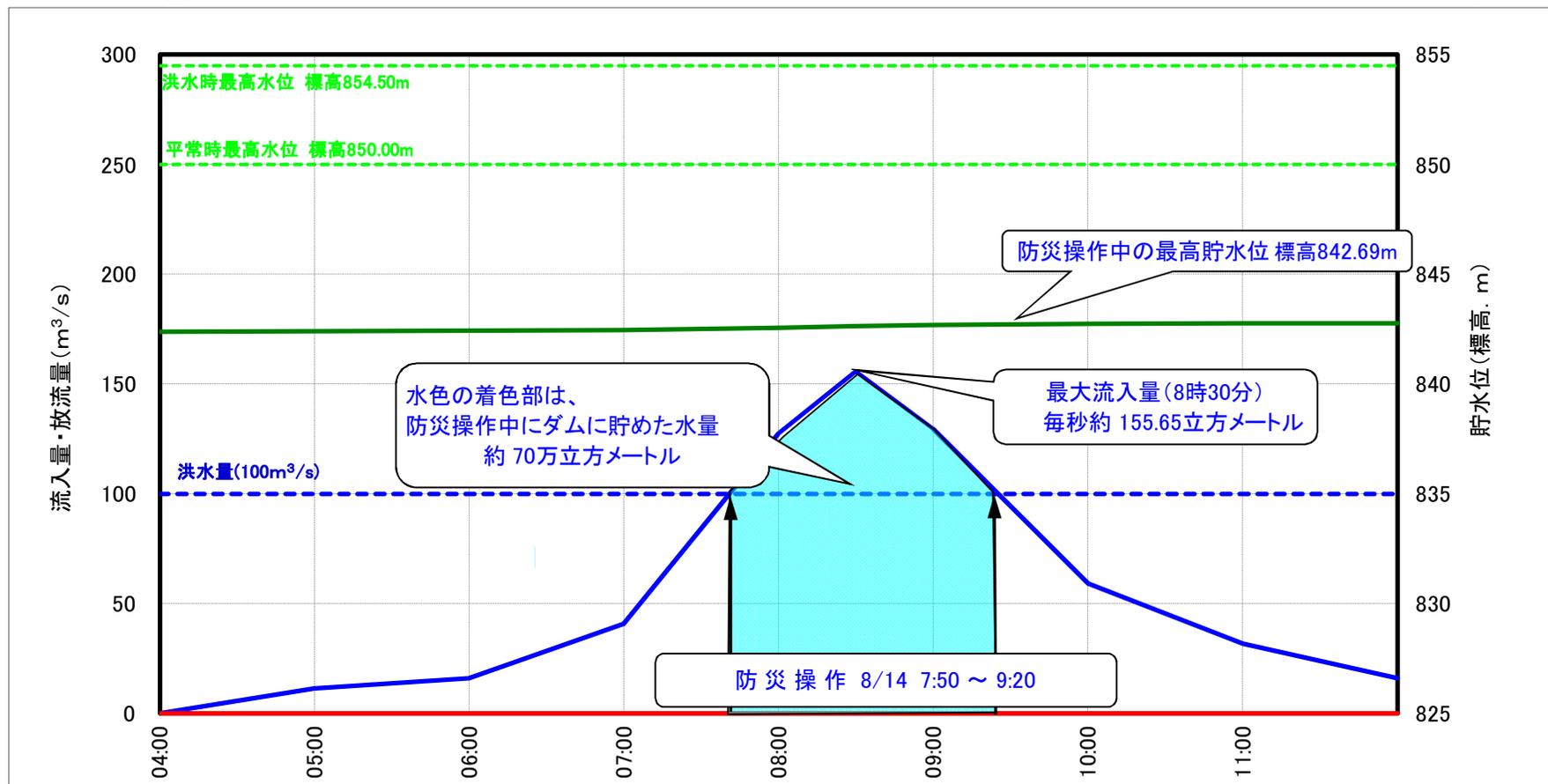
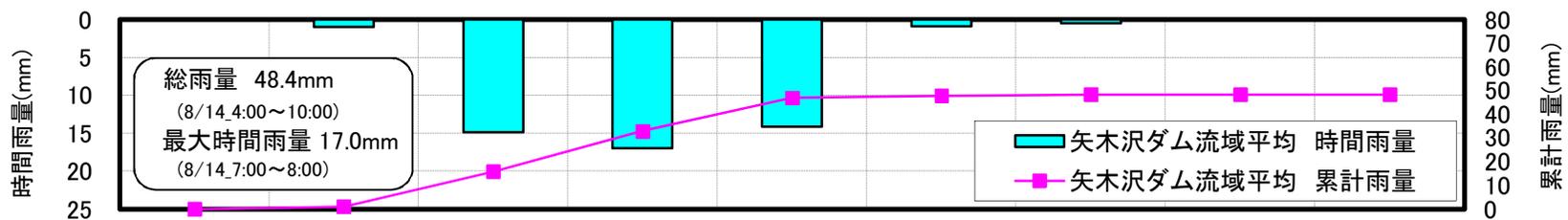
※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図



— 矢木沢ダム貯水位 — 矢木沢ダム流入量 — 矢木沢ダム放流量